



関西済州特別自治道民協会 会報

2009年11月発行

関済協

特集 「祭祀～民族性の底に流れるもの～」

Vol. 14





会旗の説明

関西済州道民協会の会旗（写真）は創立総会の席上、
済州道知事より贈呈されたものです。

会旗の円は太陽、統合、和合を表し、
三太極は三多（石・風・女）、三無（泥棒・乞食・大門）、
三清（澄んだ水・澄んだ空気・澄んだ人心）を
表しています。また四隅は四団体の合心、
すなわち統合を意味しています。

图案制作者は済州大学美術学科元教授の文基善氏。

題字「関済協」は故康忠男名誉会長の直筆です。

本土とは異なる、濟州道独特な庶民文化を受け継いで

さ

て、その土地、土地の文化は、その土地の気候風土によって作られるとは良く言ったもので、比較的穏やかな気候風土と恵まれた土壤のもと、稻作中心で生活が営まれ儒教の色合いの濃い男性中心社会が築かれ、女性が表で活躍することがあまりなかつた本土とは異なり、火山灰の土壤で畑作しか出来なかつた濟州道では、女性の役割ばかりが多く、更に価値の高い海産物は女性が海女となつて海に潜つて取らなければならず、正に男性顔負けの働きをして一家を支え続けてきた、この女性達の生活条件の厳しさが、家庭の中よりも外で活躍する生活力の強い濟州道の女性を育み、その生きざまが否応なく本土とは異なる、女性中心の独特の社会を作つていつたようあります。と同時にこの自立心の強い济州道のオモニ達は年をとつても体の自由が利く限り子供と一緒に暮らそうと

せず、息子が結婚して一緒に住んだとしても離れの部屋で食事は別々とうることもあり、親子としての関係が強く、老後は当然のこととして子供に頼り切る本土の伝統的な価値観とは異なり、親子よりもどこまでも夫婦中心に考へたようであります。

この女性達を支えたものに「民謡の島」と言われ、それこそ「百日歌い」続けてもまだ、歌いきれない程の沢山な歌がありますが、その多くが女性の働く時ものであり、ここでも女性の生活そのものがイコール労働であつた女性の厳しい生き様が伺え、正に濟州道に於いては女性の文化を知らずして濟州道は語れないということになるようになります。

そして、私達が子供の時から聞き馴れたオモニ達のエピソードもソソとした女性のイメージではないものの、庶民的で実に人情味に溢れた温もりを感じます。

せす、息子が結婚して一緒に住んだとしても離れの部屋で食事は別々とう

じさせるものではなかつたかと思います。

この温もりのある濟州道独特の庶民文化を私達の先輩方がこの大阪の地に根付かせたのであります。そうであつてみれば、私達もこの先輩方が築かれた在日の文化を受継ぎ、大切に育んで行きたいものであります。

その意味からも本会の在り方として「同郷の友であれば誰でも気軽に参加して頂き、そして互いが出会う事によって互いの心が癒される」そんな『温もり』のある親睦会でありたいと思います。



会長
高英寛







新年会

新年会

関西済州特別自治道民協会の

2009年度新年会を1月18日帝國ホテル大阪エンパイアルームで250名が参加し、盛大に開いた。会場には駐大阪大韓民国総領事館呉榮煥総領事、済州特別自治道李相福行政副知事をはじめ多数の来賓が参席した。

新年会で高英寛会長は年頭の挨拶をし、来賓の方々にご出席頂いたお

礼を述べた。また、『今の難しい世相、世の中を思いきり吹き飛ばしてしまいたい気持ちを込め、日本の神楽太鼓を演奏し、力強い太鼓の音色を持ってオープニングにしました。会員の皆さんのがさわやかな心で、今日の新年会を楽しんでいただければ幸いです。（中略）言うまでもなく、私たちも今の時代を生きる者としてこの難しい環境の中でのんとか地

に足をつけてこの難しい時代を脱して行かなくてはいけないと思想です。そしてこの難しい時代にもかかわらず本協会を支えてくださる会員の皆さんに心より感謝の言葉を申し上げます。』と述べた。

つづいて、今年成人を迎えた金早希（金万石氏長女）さんが紹介され、高英寛会長をはじめ各機関より記念品が贈呈された。

宴会では呉景学顧問の司会のもと、カラオケなどを楽しみながら、和やかに談笑した。

신년회

関西済州特別自治道民協会の2009年度新年会を1月18日
帝国ホテル大阪エンパイアホールで250名が参加し、盛大に開いた。
文・関済協事務局

来賓

1. 駐大阪大韓民國總領事館
吳榮煥總領事
2. 済州特別自治道
李相福行政副知事、
隨行員4名
3. 済州特別自治道議會
金龍河議長夫妻、
康元哲議會運營委員長、
隨行員2名
4. 済州特別自治道
梁成彥教育監夫妻、
隨行員3名
5. 済州市
姜宅相市長、隨行員2名
6. 西歸浦市
朴榮富市長、隨行員2名
7. 在日本大韓民國民團大阪地方本部
金漢翊團長
8. 大阪韓國商工会議所
金友三會長
9. 民主党大阪8区前衆議院議員
中野寛成氏
10. 大阪府議會
西脇邦雄議員
11. 在外済州特別自治道民会総連合会
白明允会長、全秉敦副会長、
姜光一事務總長
12. 在日本關東済州道民協会
高尚弘会長
13. ソウル済州特別自治道民会
吳漢根副会長
14. 釜山済州特別自治道民会
金完善副会長夫妻
15. 韓國觀光公社大阪支社
金容賢支社長
16. 済州特別自治道大阪觀光広報事務所
李夏榮所長
17. 済州特別自治道海外同胞用役事業所
梁東鎮所長
18. ラマダプラザ済州ホテル
朴善穆社長、徐正浩總支配人、
徐承載大阪所長
19. 近畿産業信用組合
千芳浩専務理事
20. 済州銀行
夫英基副行長
21. 新韓銀行済州支店
金昌烈支店長、金鎮圭副支店長
22. 新韓銀行大阪支店
晋玉童支店長、李仁均副支店長、
職員1名
23. 韓国外換銀行大阪支店
李相燁次長、鄭相憲次長、
原田清志代理



정기총회

第16回定期総会

上本町・百楽本店にて会員 72名参加

関

西済州特別自治道民協会第16回
定期総会が2月20日、上本町・
百楽本店にて役員、会員計72名が参加
し、開催された。

総会は金光龍総務部長の司会のもと
厳肅な雰囲気の中はじまつた。高英寛
会長は挨拶の中で、現執行部が発足し
て早いもので一年が過ぎた。その間、
会員の皆様には協会発展のため多大な
ご協力をいただき非常に感謝してい
る」と述べた。

続いて高英寛会長が議長に就任し、
議案を審議した。
①2008年度事業
報告（李元徹事業副会長）
②2008
年度財政決算報告（韓在邦財政・企画
副会長）監査報告（朴晶禧、任京寶監事）
③2009年度事業計画案（李元徹事
業副会長）
④2009年度予算案（韓
在邦財政・企画副会長）
⑤協会規約一
部改正の件（高英寛会長）などが満場
一致で可決された。

続いて李勝玉組織副会長が閉会の辞
を述べ、総会は滞りなく終了した。

第2部懇親会は、金基弘組織部長の
司会のもと始まり、高昌照常任顧問の
音頭で乾杯と続いた。

また、朴勝子婦人会長、姜忠勲青
年会長から各会の活動状況など報告
があり、終始和やかな雰囲気の中行
なわれた。





Kansaikyo



2

009 顧問・相談役懇親会が

いて具体的な報告があった。

6月19日心斎橋・大成閣で開かれた。高英實会長は挨拶の中「顧問・相談役は単なる名誉職ではない。協会活動が円滑に行なわれるために、意見等を積極的に述べていただき、また、その誰よりも協会発展のため物心両面において、心を碎いていただける方々だと思う。」と述べ、「また、この不況の中、協会の財政面において厳しい部分もある。しかし若い人たちの知恵と力で乗り越えていきたい。」と述べた。最後に、李勝玉組織副会長が閉会の辭を述べ、懇親会は滞りなく終了した。

고문·상담역 친목회 顧問・相談役懇親会

09顧問・相談役懇親会
関西済州特別自治道民協会





今回のゴルフコンペは協会が創立要請があつた。

そんな中、第30回関済協ゴルフコンペ、第2回ラマダプラザ済州ホテル杯ゴルフ大会が2009年5月13日KOMAカントリークラブで役員、会員をはじめ各団体からの来賓、オブザーバー等、合計276名が参加し盛大に開かれた。

競技は18ホールストロークプレー(Wペリア方式)で行われ参加者たち

ご参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

今回のゴルフコンペは協会が創立されて以来30回を数え昨年より記念大会として大きく開催する予定であつた。そんな時、予てから業務提携を結んでいるラマダプラザ済州ホテルから相互協力の増進、拡大のため是非ともゴルフ大会を開催してほしいとの要請があつた。

邦副会長が73、女性部門は神農文子さんが74という素晴らしい成績。参加者たちは大阪～済州往復航空券(ペア)、松坂牛、ブルーレイディスクレコード、高級メロンなど豪華賞品を手に笑顔で家路についた。

は熱戦を繰り広げた。

当日は絶好のゴルフ日和で、好成績を残す中、男性部門では光本幸一氏、

女性部門では平川敬子さんが見事優勝！トロフィーと40型の液晶テレビ、ラマダプラザ済州ホテルの宿泊券を獲得した。

골프대회 ゴルフコンペ

5月13日 KOMA C.C にて





하계 향토 학교

夏季郷土学校

韓国本土をはじめ日本、アメリカや
ドイツから 52 名が参加した



夏季学校は参加者たちが済州の歴史と伝統文化を体験する事により、自らのアイデンティティーと故郷に対する理解を深め、済州サラムの人的ネットワークを広げるために行われている。また、国際自由都市を目指す故郷の現在の姿と未来のビジョンを示すことにより、済州サラムとしての誇を持たせるために毎年行われている。

そのほか済州大の主管で済州海洋生態系の講演、スキユーバーダイビング、世界遺産地区「拒文岳登山」、現地体験学習など多様なプログラムで行なわれている。

今年の夏季学校は天候の関係上、一部プログラムが変更されたが、大きな問題も無く終了した。

参加者たちは異なった文化の中で育つてきたが、故郷済州で4泊5日という短い滞在期間に互いの友情を深め合った。

在 外済州道民の大学生を対象にし
た今年の夏季郷土学校は8月3
日から8月7日まで済州特別自治道人
力開発院と国立済州大学校を会場に行
われた。この夏季郷土学校には韓国本
土をはじめ日本、アメリカ、ドイツか
ら合計52名が参加した。



在

日同胞子女高校生を対象にした
済州文化体験が7月31日から8

月3日まで済州特別自治道教育厅の
主催で今年初めての試みとして行われ

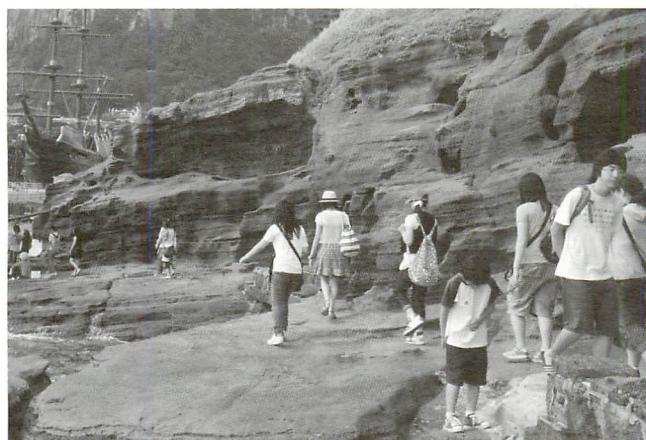
た。この文化体験には関西、関東の道
民協会より高校生13名が参加した。

この事業は参加者たちが済州の歴史
と伝統文化を体験する事により、彼等
に愛郷心を与える済州サラムとしての誇
りを持たせるために行われた。

参加者たちは世界遺産である城山日
出峰をはじめ名称、景勝地を訪ねたほ

재일 동포 자녀 고등 학생 제주 문화 체험

在日同胞子女高等学生 濟州文化体験





か、清州道内で最高の進学校である清州科学高等学校などを訪問した。

また、現地では同年代の学生の家でホームステイも体験した。

奈良から参加した朴佳南さん（四天王寺高校2年）は、

「言葉の重要性を強く感じた。在日としてどちらの国の中文化も知ることが大事だし、韓国の方と会うことが増えると思う。その時にはハングルで日本の文化も伝え、韓国の文化、歴史も再確認したいと思う。」

また、大阪から参加した李佳奈さん（帝塚山高校2年）は、

「何より一番楽しかったのが、現地の高校生の家にホームステイをしたことです。ホームステイは一番の不安の種でした。でもホームステイ先では辞書を片手に一生懸命日本語で話しかけてくれたし、回りの人たちも日本語は話せませんでしたが、仲良くなれて言葉の壁など感じないくらい楽しく、思い出深いものになりました。」

と感想を話した。



特 集

祭 祀

民族性の底に、
流れるもの。

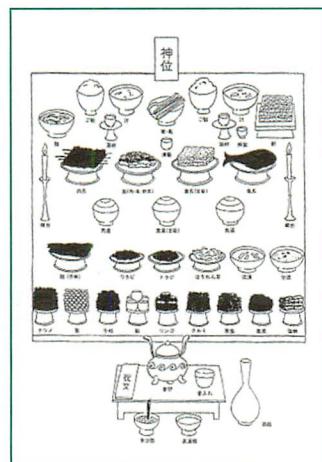
韓国では、伝統的に先祖の祭祀は葬儀と同様にきわめて丁重に行われてきた。祭祀の対象は四代、高祖までを本家で忌祭として家廟の中でとり行い、五代祖に達すると位牌を墓の側に埋めて、家庭での祭祀は廃止し、陰暦十
月（2月5日、8日、11日）に五代以上のお墓にいつて祭祀を行なつた。これを時享という。

時代の流れにより、その儀式が複雑であり、社会の急変に伴う生活様式の変化などの事もあり、簡素化される。祭祀は祖先に対する真心を尽くし、礼をもつてお仕えするのは、子孫として当然の務めである。

「祭祀」の意味を理解することによって、よりいつそう心のこもったものにする道案内になるものと思う。

古来の礼法の伝統を受け継ぎながら、「祭祀」を知り、考えることを通じて家庭内の対話と、兄弟親戚の結びつきが深まることを願う。

陳設
(チンソル)
〔祭祀の時に食物をお膳に整えること〕
祭饌の配列方法については各種の複雑



・曾祖父母の場合		・高祖父母の場合		・祖父母の場合		・父母の場合		・夫の場合		・妻の場合		・叔父母の場合		・伯父母の場合		・妻の父母の場合		・兄の場合は		・弟の場合は		・子の場合は	
顕	曾	高	高	顯	曾	高	高	顯	祖	顯	曾	高	高	顯	曾	高	高	顯	兄	顯	曾	高	
子	祖	祖	祖	妣	祖	考	妣	妣	妣	妣	祖	考	妣	妣	祖	考	妣	妣	父	夫	考	妣	母
金	考	密	考	光	考	光	密	水	原	古	阜	清	州	慶	州	考	光	山	白	李	山	李	
延	密	陽	密	山	原	山	陽	原	原	古	阜	州	州	州	考	光	山	金	氏	韓	山	梁	
安	陽	州	州	山	南	州	州	州	州	州	州	州	州	州	考	光	山	金	氏	氏	山	朴	
之	州	州	州	山	南	州	州	州	州	州	州	州	州	州	考	光	山	金	氏	氏	山	氏	
靈	州	州	州	山	南	州	州	州	州	州	州	州	州	州	考	光	山	金	氏	氏	山	氏	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
顕	弟	豊	兄	平	聘	聘	妣	叔	父	母	母	伯	父	母	伯	父	母	室	海	谷	夫	考	
子	の	場	の	場	考	考	妣	父	文	化	廣	晋	州	原	晋	州	原	海	州	山	水	妣	
金	合	合	合	合	妣	全	南	母	氏	氏	州	州	州	州	州	州	州	室	州	谷	水	妣	
延	合	合	合	合	妣	南	南	母	氏	氏	州	州	州	州	州	州	州	室	州	山	原	妣	
安	合	合	合	合	妣	全	南	母	氏	氏	州	州	州	州	州	州	州	室	州	谷	水	妣	
之	合	合	合	合	妣	南	南	母	氏	氏	州	州	州	州	州	州	州	室	州	山	原	妣	
靈	合	合	合	合	妣	全	南	母	氏	氏	州	州	州	州	州	州	州	室	州	谷	水	妣	

祭祀の参考知識



祭祀を進行する順序

ベ) ⑤撤酒(チヨルジユ) ⑥撤炙(チヨルチヨク)

二番目に杯を差し上げる事を亞献と

●参神(チャムシン)

〔神位にお辞儀して見えること〕

参神は祖先の靈にお目にかかる事であるから、祭主以下全祭官が、位牌の前で再拝(2回おじぎする)しなければならない。

●初献(チヨホン)

〔初めての杯を献上すること〕

①献酌(ホンチャク) ②祭酒(チエジユ)
③進炙(チンチヨク) ④啓飯(ケバン)
⑤読祝(トクチュク) ⑥再拝(チエベ)
⑦撤酒(チヨルジユ) ⑧撤炙(チヨルチヨク)

●終献(チヨホン)

〔祭礼で、三番目に杯を差し上げること〕

①終献(チヨホン) ②祭酒(チエジユ)
③進炙(チンチヨク) ④再拝(チエベ)

●徹床(チヨルサン)
〔膳をかたづけること〕
徹床とは、祭祀が終わってからすべてのお供えものを下ろす事で、お供え物は後の方から下げて祭床もかたづける。

●飲福(ウルボク)

〔供物をおろしていただくこと〕

初献とは初めの杯をあげることであるが、必ず祭主が行うことになつていする。祭主が香卓のまえに進んでひざまずいて座る。執事が靈位の前においた杯をおろして酒をつぐと、祭主はうやうやしくこれを受け、執事に渡す。執事は杯をもつて靈位の前におき、炙(串焼の魚や肉)の上に箸をそろえておく。

●添酌(チヨムチャク)

〔終献の杯に酒を注ぎたして杯を満たすこと〕

①挿匙(サツブシ) ②整箸(チヨンジヤ)
③再拝(チエベ)

祭主が杯を差し上げるのだが、添酌する方式はほかの杯に酒をついで、終献のとき七分目くらいいた杯に、祭祀を三回ずつ加えて杯をいっぱいにする「もし祭主が、ただ自分ひとりだけのときは、亞献、終献、添酌全部ひとりでしても差し支えない」。添酌のときには酒の肴はお供えしない。挿匙とは

祭祀の参考知識

科挙制度の名残であり、また女

安じるためという。古礼に香を焚くのは香のにおいを屋根の上にのぼらせて靈神に酒をそそぐのは陰陽の気が交流して神靈の来臨をいみするという。但し、神位(位牌)を奉安して祭祀を行う場合は參神を先にし、紙榜を奉安する場合は降神を先にする。

●亞献(アホン)

〔祭礼で、二番目の献酒すること〕

①献酌(ホンチャク) ②祭酒(チエジユ)
③進炙(チンチヨク) ④再拝(チエベ)

●紙榜(チバン)
〔紙で作った位牌のこと〕

神位の本貫や職位を祭祀のたびに書き入れた紙を紙榜という。伝統的な書き方で、男性に対し「学生」というのは李朝時代

祭祀のとき供えてあるご飯の器のふたを取つて、ご飯に匙を差し入れる事で、匙の先端は東の方に向くようにしておく。

●闇門（ハムムン）

〔供え物を捧げてのちしばらく戸を開めること〕

闇門とは全員が外に出て戸を閉じ、身をかがめて、静かに待機する。闇門する時間は礼法に一食九飯の頃と言われ今的时间で四～五分程度である。

●啓門（ケムン）

10分位

〔侑食のために閉めてあつた戸を開けること〕

啓門とは、戸を開ける事をいう。祭主が数分後に三度せきばらいして、一同を引きつれて、戸を開けて入つて行く。祭床の前をおおつてその場にいた

場合は、まず祝文を読む人が立ち上がり、祭床のおおいを取り除き、次いで祭官全員が立ち上がる。

●献茶（ホンタ）

- ①徹羹（チヨルゲン）②進熟冷（チシスクリン）③徹匙（チヨルシ）④覆飯（ボクパン）

●熟冷（スクニヨン）

釜湯ともい、飯を炊いたあとのがま湯と取り替えお供えをして、ご飯を少しずつ三度取つてスクニユンの器に浸しておく。そして全祭官がしばらくの間身をかがめながら頭を上げる。徹匙とはスクニユンの器に浸しておいた匙

をかたづけて、ご飯の器にふたをかぶせて利成（祭祀が終わつたということ）を告げる。その間全祭官は敬虔な態度で身をかがめていて、再拝して辞神を行ふ。

●辞神（サシン）

祭祀を終えて参列者一同が再拝して、神主の場合には家廟に遷座し、紙榜の場合には祝文といつしょに火に燃やして香炉にいれる。

（文・李水哲）

性に対しても「孺人」と言うのも「乳を与えて育てた人」意味からきており、いずれも現代の生活感覚ふさわしい事とは言いにく。むしろ、続柄の表現は残して、本貫及び姓を書くことで足りるとおもわれ、新しいあり方の紙榜を参考に。

親等表

五代	四代	三代	二代	一代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	七代	八代
玄高	曾祖	祖父	自子	孫	曾	玄	来	昆	仍	雲		
祖父	祖	父										
父												
母	母	母	母	母	己							
						孫	孫	孫	孫	孫	孫	孫
						(二世)	(三世)	(四世)	(五世)	(六世)	(七世)	(八世)



부인회 婦人会だより

関

西済州特別自治道民協会婦人会
創立13周年懇親会が6月26日、
心斎橋・大成閣で113名が参加し、
開かれた。

総会は金花子副会長の司会のもとお
ごそかな雰囲気の中はじまった。

朴勝子会長は挨拶の中で梅雨の最
中、多数の会員に出席して頂いたお礼
を述べた。

また「婦人会も今年で創立13年を迎
える事ができましたがこれも歴代会長
並びに顧問、役員、会員の皆様のご支
援ご協力の賜物です。」と述べた。続
いて申永林名誉顧問の発声で乾杯があ
り、宴会へと続いた。

第2部では、本協会の吳景学顧問
の司会でカラオケ、生バンドの演奏、
ダンスなどで盛り上がった。





【婦人会会務報告】

2008年

11月11～13日 2008 婦人会懇親旅行

於：韓国、釜山・慶州

12月19日 第3回役員会及び役員忘年会

於：上六、銀座アスター

2009年

2月27日 第4回役員会

於：上六、レストラン コーイン

5月29日 第5回役員会

於：心斎橋、大成閣

6月26日 創立13周年懇親会

於：心斎橋、大成閣

9月3日 第6回役員会

於：TERRASSON

9月17日 会長団会議（旅行社との打ち合せ）

於：事務所

11月17～18日 2009 婦人会懇親旅行

於：石川県、和倉温泉「加賀屋」





ア

ンニヨンハシムニカ。私は、
関西済州特別自治道民協会青年
年会第15代会長の姜忠勲です。この
度、関西済州特別自治道民協会の機
関紙発刊にあたり、一言ご挨拶をさ
せていただきます。まず始めに、い
つもあたたかいでご支援を頂いている
協会、婦人会、OBクラブのアボジ、
オモニ、兄さんたちにこの場をお借
りして感謝申し上げます。テダニカ
ムサハムニダ。我々青年会は、済州
に祖先をもち、日本に生活基盤を
持っている青年たちの集まりで、会
員相互が親睦を深め、知識と教養を
高め、済州の発展に寄与することを
目的としています。

年間の主な活動としては、故郷で

청년회 青年会だより

青年会第15代会長 姜忠勲会長
歴史・文化を学び、
異国である日本でルーツを大切にし、
誇りを持って生きていく

ある済州への公式訪問や韓国、済州、
ビジネス等に関する勉強会の開催、
スポーツ大会や川遊びなどの家族交
流旅行などを行っています。また済
州道の青年会と、日本と韓国交互に
往来して交流を行い親睦を深めてい
ます。

さて、われわれ青年会は、今年度「家
族」をスローガンに掲げて活動して
きました。これは、協会と婦人会の
ハラボジ、ハルモニ、アボジ、オモ
ニたちとOBクラブの先輩たちと、ま
た青年会の兄弟姉妹たちとよりいっ
そう親密な関係を築いて本当の「家
族」のような関係になり、協会が我々
在日済州人の家のような場所に成つ
てほしいという思いからです。

**テーマ『家族』
一生付き合える仲間**

文化事業の企画 母国訪問・野遊会

私も青年会に入つて、先輩や後輩たちと一緒に活動し、語らい、お酒を飲み、時には叱られ、時にはともに笑い、苦楽を共にしたことによつて沢山の事を学び本当の兄弟のような関係を築くことができました。青年会に入つて私が一番良かったと思ふことは、一生付き合える仲間を得ることができたことです。私は会長として、このような経験を後輩たちに伝えていきたいと思っています。また、それが会長としての一番の使命だと思います。

これからも青年会は、協会の発展のために力いっぱい努力しますので、今後とも宜しくお願ひします。

●役割

- ①毎月行われる幹事会に必要な資料を作成し、幹事会での議事進行補佐を行い、幹事会が円滑に行われるよう準備をする。
- ②他の部署と連携して行われた月例行事の総括分をまとめる。
- ③毎年行われる定期総会に必要な総会パンフレットを作成し、定期総会で議事進行補佐を行い、定期総会が円滑に行われるよう準備をする。
- ④各部署の部長方の調整、取りまとめ役を担う。

総務部

組織部

アンニヨンハシムニカ！2009



年度、組織部長を務める金成秀です。

組織部は会員1人1人が自己研鑽できる学習会などを企画・実行する部署です。年に一度、講師の先生を招いて韓国の歴史や文化を学ぶ勉強会を実施したり、渡来人ゆかりの場所へ実際に足を運んでフィールドワーク等をおこなっています。

青年会は親睦団体ですが、濟州島を祖国にもつ青年として、その歴史や文化を学ぶことや、祖父母や両親、諸先輩方の歴史を知ることはとても重要なことだと考えます。なぜならそれは私たちが異国である日本でルーツを大切にし、誇りを持つて生きていくためです。そしてそれらを後輩たちに引き継いでいくことが、私たちの使命ではないでしょうか。一緒に学んでいきましょう!!

事業部
はじめまして。関西済州特別自治道民協会青年会 事業部長の梁晚琪と申します。

当事業部におきましては、“母國訪問”を中心とした活動内容とあります。

我々、済州在外道民としてその母国である済州特別自治道に毎年1回、主に秋に訪問し、当会員相互の

親睦を母国においてさらに深め、また、本国の連合青年会との親睦を図り互いの交流を進めております。

また、この母国訪問はその他に、当会伝統の事業として、済州大学に図書基金を行い、また、済州特別自治道庁において知事と面談し、日本に本拠を構えて生活する我ら在外公民としての志として、ささやかでありますが寄付金を贈呈しております。

このように当事業部における母國訪問は単に当会のメンバー間の親睦や本国青年会との友情を深め、交流をすすめることのみならず、当会としての理念と志に立脚した伝統ある事業としてその中心的な役割を果たしていると言えるでしょう。

1年に1回、母國を訪ね、日本の空気、食べ物や自然とふれあい、そして済州特別自治道の日本に住む公民としての自覚を再確認できる良い機会ととらえ、多くの会員が楽しみしております。

● 主な役割
野遊会を通して会員間の親睦を深める

一言
2009年度、厚生部長を務める

秦央大です。厚生部では年に一度の野遊会をまとめる大事な仕事をあります。私も今年はじめて厚生部長になり8月に野遊会を行いました。

以前に副部長は経験していましたが、やはり部長となるとその大変さが身にしみて分かりました。しかし、諸先輩方にもかなり助けて頂き、自分でも色々な事を想定して行動したので、終わった時は安堵感と達成感でいっぱいになりました。大変ではあります、みんなが楽しめる事を考

考えるのは他の部にはない事なのでやりがいのある部署が厚生部だと思います。

このように今年の担当事業の忘年会が残っています。一年間の会員の労をねぎらい、いつまでも記憶に残るような楽しい忘年会にしたいと思います。

最後に今年の担当事業の忘年会が残っています。一年間の会員の労をねぎらい、いつまでも記憶に残るような楽しい忘年会にしたいと思います。

また。会長との協議の結果、本年度より各事業の写真撮影などの記録は担当部署がする事となりました。これは私自身一番望んでいたことであります。

本年度広報部は青年会のホームページ作成を担当します。インターネットを通じ、青年会の存在や活動をより多くの人に広めることができます。とても有意義なことだと思つ

● 役割
①在日社会に本会の主旨、目的、活動を広める。
②組織拡充のための広報活動を行う。
③担当事業を円滑に有意義に行う。

● 部長の一言
二月にありました総会で広報部長に指名され、もう八ヶ月が経ちました。

毎年の通例どおり仕事をすればよかつたのですが、私自身納得の行かない仕事や不満に思える仕事があり





Kansaikyo



在外済州特別自治道民会 総聯合会定期総会

**22団体に中国・
南米の新規加入で
合計24団体**

在 外済州特別自治道民会総
聯合会2009定期総会
が9月10日済州商工会議所にて
韓国本土、日本、アメリカ、中
国から22団体中19団体の役員が
参加し開催された。

白明允会長は去る一年間の事
業成果について話しながら、故
郷発展のため尽力された各地域
道民会の会長並びに役員の皆さんに敬意を表すると挨拶した。
定期総会では、2008年度の
事業総括と財政決算、2009
年度の事業計画と予算案が審議
可決された。

また、中国・上海、南米（ブ
ラジル、アルゼンチン、パラグ
アイ、ペルー）道民会の新規加
入が承認され合計24団体の所属
する会となつた。





탐라문화제

耽羅文化祭

会員 37 名が故郷 済州を訪問、
韓国最南端の島「馬羅島」観光、
ラマダプラザ済州ホテルでの晩餐会

西済州特別自治道民協会では第48回耽羅文化祭が開催されるのに伴い2009年9月10日～12日の日程で37名が故郷・済州を訪問した。

今年は文化のオリンピックといわれる第3回世界デルフィック大会が済州で開催されるという事で、耽羅文化祭が例年よりひと月ほど早い開催となつた。

9月10日午後7時、タプトン広場の特設ステージで行われたオープニングセレモニーでは、武将の衣装を身に着けた男性たちの洗練かつパワフルなパフォーマンスに目を奪われ、真剣を用いた演武は驚くばかりであった。

続いて、在外道民の各団体より済州文化発展のための誠金が主催者へ伝達された。

セレモニーの最後に打ち上げられた数百発の花火は澄んだ夜空を飾るのに十分すぎるくらいであった。

二日目は参加者たちで韓国最南端の島「馬羅島」へ向かった。済州の南西に位置する松岳山の遊覧船乗り場から乗船し波に揺られること約40分、馬羅島に降り立つた。

馬羅島には高い木は無く、島の中心の丘の上からは360度水平線の大

●韓国最南端の島「馬羅島」

関



パノラマ、爽快な景色であった。

また、参加者たちはカートや自転車に乗って島内を一周したり、徒步で散策したりと気ままに過ごした。

●会長主催晩餐会

二日目の夕刻、当協会の高英寛会長主催の晩餐会がラマダ・プラザ済州ホテルで開かれた。

高英寛会長は冒頭の挨拶で、この度の故郷訪問に参加していただき、感謝していると述べた。

また、晩餐会には済州特別自治道梁祚勲環境副知事、金龍河道議會議長、梁性彦教育監など関係各所から来賓が出席し、祝辞を述べた。

参加者たちのほとんどが、来賓との面識もあり、終始なごやかな雰囲気で歓談、楽しい時間を過ごした。

三日目はゴルフを楽しむメンバーや観光、墓参りと故郷・済州での日々を満喫し、帰路へついた。





<狸狸亭の理念>

狸狸亭は、清潔感のある店内と、心のこもったサービスを心がけ、新鮮で体に優しい厳選した特選素材を焼くことで素材の持つ本来の味を生かし、ボリュームと味にこだわりを持ってお客様に満足して頂く様に努力しております。



お好み焼き・鉄板焼 狸狸亭（ポンポコティイ）

おしゃれな大人の、もう一つのリビング。

ソウルフードの街、大阪鶴橋にとつてもおしゃれな大人のもうひとつリビング、「お好み焼き『狸狸亭 鶴橋駅前店』」が9月10日（木）にオープンしました。狸狸亭はこのお店をはじめ、大阪市内に直営店4店舗、フランチャイズ8店舗の合計12店舗が、若くて元気なスタッフたちにより営業されています。狸狸亭のオーナーは、当協会理事の姜孝一（神野孝一）氏（47歳）。狸狸亭はお好み焼き店にはめずらしく、コースメニューのほか鉄板焼メニューも多彩で、焼酎やワインとお酒も充実しています。お近くにお越しの際には、ぜひ一度お立ち寄りください。

[住所]〒543-10026 大阪市天王寺区東上町1-1-60
[電話]06(6774)0188 **[ファックス]**06(6774)0187
[交通・アクセス]（JR・近鉄）鶴橋駅西口を出て南へ30m

有限会社 ポンポコティイ

代表 神野 孝一

〒544-0005 大阪市生野区中川6丁目2-8 TEL 06-6753-5556 FAX 06-6753-5557
<http://www.ponpocotei.com> E-mail 5551@ponpocotei.com

新・世界七不思議

「世界七不思議自然遺産部門・濟州島最終候補地に選定」

濟

州島が「新・世界七不思議自然部門」(New 7 Wonders of Nature) 新・世界七不思議(N7W)財団は71カ所を対象に専門家会議を経て濟州島を含む最終候補地28カ所を選定した。最終候補地には、アメリカのグランドキャニオン、スイスの最高峰マッターホルン、豪州のグレート・バリア・リーフ(珊瑚礁)、アフリカのキリマンジャロ、エクアドルのガラパゴス諸島、南米の熱帯雨林アマゾン、アゼルバイジャンのコブスタン泥火山群、レバノンのジェイタ洞窟、アイルランドのモヘルの崖、ドイツの黒林地帯などがノミネートされた。新・世界七不思議財団は2011年下半期に新・世界七不思議を決定することになる。ユネスコ財団は「地域的バランス、生物学的重要性、ユニークな美しさ、生物の多様性など考慮し最終候補地(濟州島)に選定された。濟州島が最終候補地に選ばれたことで「濟州島の地位が一段と高まった」と大きな関心を持っている。最終審査(2011年下半期)には新・世界七不思議に選ばれるように祈願する。



李永哲

編集後記

編

集後記に入らせて頂く前に不況の中、例年通り「関済協」を発刊できる喜びと感謝の気持ちを心より会員各位に申し上げます。昨年の編集後記にも述べさせて頂きました、「未曾有の金融危機」から一年を数える事となりました。現在は、その時よりも悲惨な状況であり、中でも失業率は今尚上昇し、最悪率を更新している状態です。経済の低空飛行は、当分継続すると言われております。しかしその事に悲観しても、心配しても何の解決にもなりません。

在日一世の我々のハラボジ、アボジは、どんな時も何事にも屈しない『負けん気魂』で歯を食いしばり頑張り乗り切り、そして我々が生まれ成長してきました。その【DNA】を備え持つ我々に不可能はないと思います。今こそ元気と勇気を持ち、立ち向かってこそ大韓民国ではないでしょうか!!!!。

今回の「関済協」は会員各位の皆様方に喜んで頂ける記事を存分に記載しております。協会活動はもちろんのこと婦人会、青年会の活動記事を御覧頂き、お喜び頂けるものと思っております。

最後になりましたが、今回の発刊に伴い多くの広告を頂戴致しました会員各位ならびに関係各位の皆様方のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

【企画副会長 韓在邦・企画部長 梁哲司】